

平成 23 年 6 月 30 日

科学技術政策担当大臣と有識者議員との会合
(6 月 23 日(木))
アクションプラン関連の議事要旨

【パブリックコメント募集案について】

(主な意見)

(奥村議員) 復興・再生の項目については、放射性物質による影響も踏まえ、政策課題について、「災害から命を守る」に健康を追加している。

(相澤議員) グリーンイノベーションについては、特に目指すべき社会の姿について表現振りを変更した。グリーンイノベーションが日本にとっても世界にとっても重要であることを明確にするとともに、我が国におけるエネルギー供給サイドでのクリーンエネルギーの確保の必要性を追記している。エネルギー需要サイドに関する記述が続き、その後の社会インフラの部分には、今回の震災を踏まえ、自然の脅威に対する備え、自然との共生を追加している。グリーンイノベーションは今年度も実施しているが、枠組みを大きく組み替えて、分散型エネルギーの推進を追加している。

(事務局) ライフイノベーション及び基礎研究・人材育成については、大きく変更していない。

(相澤議員) 青木議員より、再生可能エネルギーについて「安定供給」を「安定生産」にしてはどうかという提案をいただいたが、需要と供給を対応させているため、一部説明を追加した。

(青木議員) 再生エネルギーについては、説明が入っており、誤解がなくなった。

(阿久津政務官) **イ-4**の5ページの死者・行方不明者の最近の数は記載されている数字より少ないと思う。全体的には、これでよいと思う。

(奥村議員) 指摘を踏まえ、最新の数字に変更にする。

(相澤議員) 例年と異なり、各省は概算要求の準備に入り切れていない。各省と意見交換しつつ検討しているが、1ページ目に「検討中のものである」と記載しているとおり、今後の各省とのやり取りに伴い内容変更もあり得る。

(白石議員) **イ-4**の2ページの冒頭、「平成 23 年度に引き続き」としているが、昨年度は先行的に策定したが、今回は、総合科学技術会議が重要と思うものに本格的に重点化するという性格で進めており、その説明が必要ではないか。

(相澤議員) ご指摘のとおりであり、表現振りを工夫する。

(結果)

・ **イ-4**について了承し、大臣・副大臣のご了承を頂いた後、来週早々にもパブリックコメントを1週間実施することとする。